コミュニティ活動助成

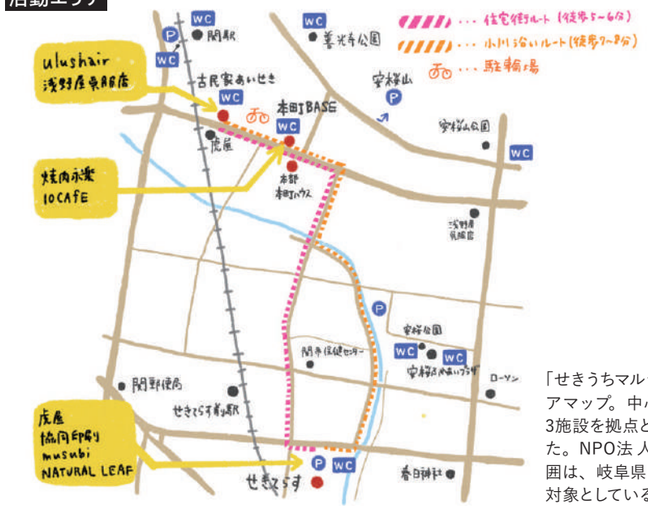
NPO法人 せき・まちづくりNPOぶうめらん

岐阜県関市

高校生が地域と関わる「まちの文化祭」「まちの部屋」「まちの部活」事業

2022年9月、地域の協力を得て関市の中心市街地で高校生が開催した「まちなか文化祭 せきうちマルシェ」

活動エリア



「せきうちマルシェ」のエリアマップ。中心市街地の3施設を拠点として開催した。NPO法人の活動範囲は、岐阜県関市全域を対象としている

団体設立経緯

一度関市を離れたとしても、また戻って来る（ブーメラン）ことができるまちになるよう、2007年に地元有志でまちづくりNPOを設立しました。当初はフリーマガジン事業のみでしたが、現在は「若者が戻り、住み続けられる関市」を主眼に事業を展開しています。

「高校生までに郷土愛と地域の産業を理解する」ことと、「関の外に出た人へ、34歳まで切れ目のない情報提供とUターンを検討する際の必要なサービスを提供する」ことに取り組んでいます。

活動概要と活動対象範囲

岐阜県関市全域を対象地域として活動しています。これまでは、関市の小中学生に対しては郷土愛の醸成として、また高校生に対しては関の産業を知り体験するための「**フリーマガジン事業**」を展開してきました。

さらに、高校生が仕事を体験する「**関ジモト大学**」を実施し、高校生と関の仕事をつなげること、そして、まちづくりに関わりたい高校生を支援する取り組みも実施しています。

活動に至った理由や背景

関市の高校生に「関市の会社を何社知っているか」を調査したところ、市内にある全事業所の中のわずか約0.2%しか知らないという結果となりました。関での働き方、企業のことを知らなければ、就職活動の際にも関で働くことが選択肢に入りません。また、将来的に戻ってくるためには、地元での成功体験や、地元の大人と交流することが大切だと考えています。

活動内容と成果

1）関有知高校とのまちなか文化祭「せきうちマルシェ」事業

関有知（せきうち）高校2年生全員が、半年をかけて学校の探究授業の中で地域講師と一緒になって制作したモノやサービスをまちなかで販売する、まちなか文化祭「**せきうちマルシェ**」を開催しました。同校にとっても初めての試みでした。

関有知高校2年生140名が9チームに分かれ、各チームに作家やデザイナー、商店主といった地域との連携ノウハウを持つ講師が付き、「関市のまちなかを盛り上げるためのモノやサービスとは」というテーマの授業を企画しました。

夏休み前の5月から7月にかけて5回、開催直前の9月7日に6回目の授業を実施。チームによっては、夏休みにも自主的に集まり制作を進めたところもありました。そして、その成果を9月10日のまちなか文化祭で披露しました。工夫を凝らしたマルシェ企画は、それぞれ地元店舗のサポートを受け実現しました。

開催拠点：本町BASE、古民家あいせき、せきてらす、本町ハウス

【マルシェ出店名と内容】（カッコ内は地元協力店舗）

Swee10 sekiuchi：暑い季節にぴったりの関の牛乳やレモン、美濃の白川茶など岐阜県の名産を使ったドリンクを販売（10カフェ）

関市虎屋：和菓子づくりワークショップを開催。茶巾しぼり、ヘラ切り、そぼろ付けの3種類を職人候補の関有知高生が教えてくれます（関市虎屋）

結 with musubi：高校生が1本1本削った木のフォーク「鵜呑みフォーク」を販売。ワークショップでは、鉛筆づくりを通して高校生たちが小刀の使い方を教えます（Musubi）

ulus hair：ulus hairの手技を伝授された高校生の肩マッサージが体験できます。ゆったりとした古民家でつかれを癒しませんか（ulus hair）

29LOVE：満足感重視の牛タン弁当、コリアン弁当、生姜焼き弁当を開発（焼肉永楽）

paint color event：オリジナルコインケースづくりワークショップを開催。好きな色のスタンプをポンポンするだけです（ナチュラルリーフ）

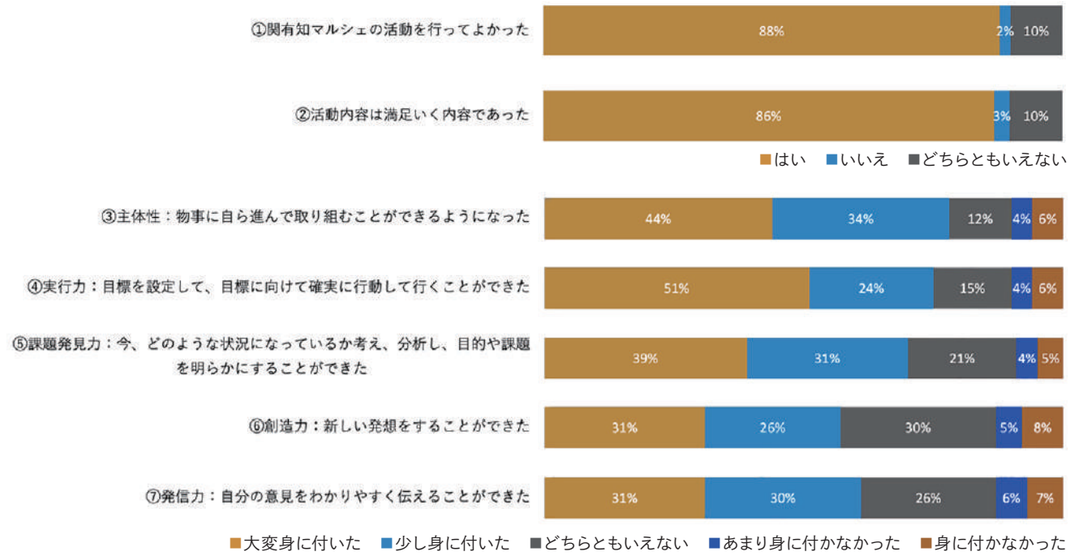
浅野屋ゆかたレンタルshop：夏恒例の浴衣レンタルを実施。古民家の縁側で写真撮影もできます。お見立て、着付けは高校生が担当します（浅野屋呉服店）

ウチ・プリwith協同印刷：教科別に特化したノートや、生活に便利なシールを販売します。高校生のアイデアをご覧ください（協同印刷）

関有知高校生が参加するマルシェの開催を知らせるチラシ。同校にとっても初の試み

（左）高校生が考案したノートやシールを販売
（右）カフェのキッチンでドリンクを準備する生徒たち

【図1】まちなか文化祭を経験した、関有知高校2年生全員を対象にしたアンケートの結果



後日実施したアンケートの結果【図1】から、高校生として大変満足いく活動であり、かつやってよかったと言える活動だったことがうかがえます。生徒が身に付けたと感じた力についても、主体性と実行力が特に高まっていることが分かりました。まちづくり活動に自分たちが実際に関わることで意識が高まり、主体性の向上につながったと感じます。この後も、関有知マルシェに参加した生徒が他のマルシェにボランティア参加するなど、まちづくりへの参加が広まってきました。

また、関有知高校の教員たちは、この学校の生徒は発信力が弱いのではないかと感じていました。自分の思いを声にできない、伝えるのが苦手な生徒が多いとの見方がありました。その点では「発信力」の項目で、「大変身に付いた」「少し身に付いた」が合わせて62%となったことに対して、先生方にも喜んでもらえました。

2）まちの部活事業

上記のまちなか文化祭を含め、これまで探究の授業として市内3校で高校生が地域に関わることをやってきました。その中から、さらに自主的に取り組みたいという思いを持つ高校生も増えてきました。その高校生と、地域の大人が一緒になって活動する「まちの部活」を実施しました。

関高校美術部の生徒たちが金物店のシャッターに描いたアート作品。関市の鳥として指定されているカワセミをモチーフにした

【活動テーマと内容】（カッコ内は参加生徒／地元協力店舗）

商店街シャッターアートプロジェクト：金物店のシャッターに関高校美術部の生徒がイラストを制作する（関高校の美術部約15名／三輪塗装、アトリエ波）

高校生ジビエ料理開発プロジェクト：食品ロス削減に取り組むチームが、鹿肉の廃棄を少なくするために、鹿ミンチによるジビエ料理を開発して販売（関高校の2年生8名／中華料理しょうりゅう）

高校生向け　就職活動冊子プロジェクト：自身が就職活動をした経験から、高校生の就活についてまとめた冊子を作成した（隣接する美濃市の武義高校3年生／デザインmina）

物物交換プロジェクト「とりかえっこマーケット」：学用品を中心に物物交換をするマルシェを実施（高校生まちづくり団体LetGiftの6名／アクアマルシェ）

関高校の2年生が食品ロス問題に取り組み、鹿肉を有効活用して開発した「鹿っ子ミンチ」。地元の中華料理店とのコラボレーションで実現した

3）まちの部室事業（まちなかオープンコミュニティスペース）

関市のまちなかには、本町BASEや古民家山麓といった、行政がここ近年整備したコミュニティスペースがあります。しかし、こうした施設はハードありきでスタートしているためか、コミュニティづくりが後手に回りがちです。公共施設に加え、お寺や教会など民間の空きスペースを、**まちの部室**として認定し、まちの部活のソフト事業との連携により、高校生や地域住民が気軽に使える場としていきます。

今年度は古民家あいせき、せきてらす、教会カフェVine、本町ハウスの4カ所をまちの部室に認定しました。まちの部活の一環で高校生によるデザイン、編集で制作した「高校生向け就職活動冊子プロジェクト」の裏表紙にこれらの情報を掲載することで、高校生に広く発信しました。

課題と解決方策

課題1：まちなか文化祭において、学校の担任の先生の理解を得るのが難しかった

まちなか文化祭の企画に当たっては、幹部の先生や総務部の担当の先生からは、全面的に賛同を得ることができました。その一方、現場を実際に受け持つ担任の先生たちからは、地域の講師とのやりとりといった負担の増加や、校外へ生徒を連れ出すことへの危険性など、様々な疑問点を指摘されました。そのため随時学校へ伺い、丁寧に説明をすることで、最終的にはある程度の理解を得ることができました。

課題2：学校と地域の講師の考え方のギャップ

「失敗も経験」と思っている地域の講師と、「生徒に失敗させたくない」学校の先生との認識の違いがあり、先生が干渉するあまり、生徒の主体性が発揮されにくい場面が多々あったように思います。単純にどちらが正解とは割り切れないところもあり、難しい課題です。次年度以降、ワークシートなどで対応できればと思います。

今後の予定

次年度の1年はまちなか文化祭を一旦休止して、24年度の高校2年生のまちなか文化祭に向けて、高校1年生から同じ講師のもとで学ぶプログラムを新たにつくりました。1学年目は学校内の座学で地域講師から学び、2年時に、それまで学んだことを地域で実践するプログラムです。

まちの部活は今後も継続的に高校生のやりたいことを募集しながら、当年度の継続事業も含めて、引き続きサポートしていきます。

特定非営利活動法人せき・まちづくりNPOぶうめらん

2006年12月設立、07年6月法人化／メンバー数:40人／代表者:浅野 欽一郎（あさの・きんいちろう）

●〒501-3886　岐阜県関市本町6-24

☎0575-46-8035（北村）　info@vousmelan.com

vousmelan.com/　facebook.com/vousmelan1

私たちは「若者が関に戻り住み続けられるまちに」をミッションに、「郷土愛の醸成」、「関で働くイメージができている」、「企業が元気で地域を支えている」、「生き生きとした市民社会」を4つの柱として活動しています。